

# 高効率な石油精製技術の基礎となる石油の構造分析・ 反応解析等に係る研究開発委託費

平成30年度予算額 **4.5億円（4.7億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 省エネの進展等による国内石油需要の減少、アジア新興国における大型・輸出型製油所の台頭による国際競争の激化など、我が国石油精製業を取り巻く事業環境は厳しくなっています。
- こうした中、将来にわたり石油の安定供給を確保していくためには、コストの安い原油等から高付加価値の製品を生産すること（石油のノーブル・ユース）や精製設備の稼働を長期間安定させること（稼働信頼性の向上）など石油製品を効率的に生産する能力を高めることで、原油の有効利用や調達原油の多角化（中東依存度の低減）を図っていくことが重要です。
- このため、本事業では、従来、組成が未解明のために処理が困難であった重質油について、分子レベルで組成を科学的に解明し、石油精製プロセスにおける化学反応を解析・予測するための技術（ペトロリオミクス技術）を活用し、付加価値の高い石油製品や石油化学製品を効率的に生産する基盤的な研究開発を委託します。

### 成果目標

- 平成28年度から平成32年度までの事業であり、平成32年度までに、国内製油所に適した重質原油と軽質原油の混合方法を15件確立すること等を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

